



気高SGHN通信

文部科学省認定スーパーグローバルハイスクールネットワーク校



No. 1 令和3年5月28日

海を素材とするグローバルリテラシー育成
～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

宮城県気仙沼高等学校

「スーパーグローバルハイスクールネットワーク」認定

高等学校及び中高一貫教育校における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため、スーパーグローバルハイスクール(SGH)の成果をふまえ、継続的発展的に取り組む高等学校等を中心としたネットワークを構築することを目的として「スーパーグローバルハイスクール(SGH)ネットワーク」が文部科学省により構築されました。

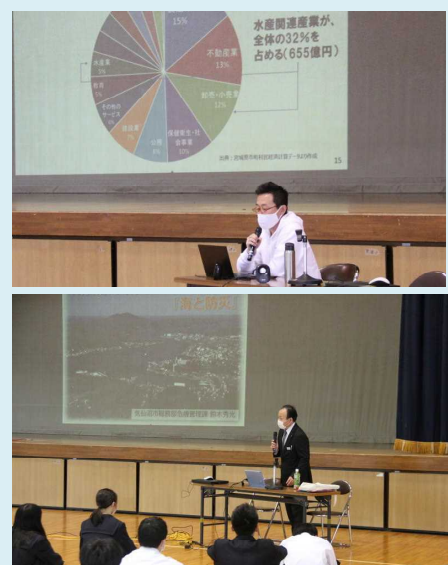
本校においては、平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間、SGHとして「海を素材とするグローバルリテラシーの育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」の研究開発名のもと、地域課題とSDGsを関連付けた課題研究活動や国内外の各種機関との交流を通して、国際社会で活躍できる地域起点のグローバル人材育成に取り組んでまいりました。こうしたSGHでの本校の取組が評価され、令和3年度、SGHネットワークへの参加が正式に認められました。

本校としましては、今後も引き続き、探究活動や国内外の交流を充実させるとともに、全国高校生フォーラム等の全国的な取組に継続的に参加することを通じ、SGHの成果普及を図り、地域起点のグローバルな人材を育成してまいります。

1学年地域社会研究「地域理解講座」

5月26日(水)、27日(木)の両日に地域で活躍する5名の方を招聘し地域理解講座を実施しました。「海と産業」、「海と防災」、「海と人間」、「海の文化」、「三陸の自然」の5分野に関する講話はどれも生徒にとって深い学びにつながる有益な内容ばかりでした。

5月から本格的に始まった地域社会研究は夏休みまでの前半では、今回の地域理解講座の他、SDGsに関する勉強会を実施したり、先輩の発表を聞いたり、大学の先生の講演を拝聴したりと、知識を得たり深めたりするインプットの時間を設定しています。夏休み明けからは自分の興味を持った分野を選択し、グループを組み、テーマを設定し研究をスタートさせます。その後、フィールドワークと中間発表会、そして再びフィールドワークを行い、最終発表会へとつなげて参ります。今回の地域理解講座は、研究のスタートとして非常に大切な機会だったものと推察できます。これから分析・考察・発表を繰り返し行い、深い探究につながっていくことを切に願っております。



初日(26日)の講話の様子